



～首都圏初「みなとオアシス」が誕生！認定証授与を行います。～

記者発表資料

関東地方整備局はこの度、首都圏初となる「みなとオアシス」を3ヶ所（大洗港、木更津港、館山港）認定し、認定証の授与を行いますのでお知らせいたします。

今後、各みなとオアシスを核として、みなと・海岸・広場などの施設やスペースを活用した賑わい創出活動（定期的なイベント等）を支援していくことにより、地域活性化が期待されます。

■ 認定証授与日時（※交付式は、取材可能です。詳細は下記問い合わせ先までご連絡下さい。）

○「みなとオアシス大洗」

設置者：大洗町長 認定施設：大洗マリンタワー 他

交付式：H20.12.20(土) 14時30分～ 大洗港第4ふ頭「海賊の館」前にて

○「みなとオアシス木更津」

設置者：木更津市長 認定施設：きさらづ海の駅 他

交付式：H21.1.13(火) 15時～ 木更津市役所にて

○「みなとオアシス・たてやま“渚の駅”」

設置者：館山市長 認定施設：館山駅西口観光プロモーション室 他

交付式：H21.1.13(火) 13時～ 館山市役所にて

■「みなとオアシス」の全国展開の推進

○国は、みなとを核とした“地域の活性化”を積極的に支援するため、人々の賑わいや交流をつくり出す、みなとの施設を「みなとオアシス」として認定・登録し、その広報活動を支援する「みなとオアシス制度」の全国展開（これまで全国で46港が登録）を推進しています。

○認定されたみなとオアシスに対して全国共通の標章の利用、全国への情報発信など広報活動支援などを積極的に展開することとしています。

【別紙】（別紙1）各みなとオアシスの詳細（別紙2）「みなとオアシス」制度概要
（別紙3）全国の「みなとオアシス」登録港



「みなとオアシス」標章

平成20年12月19日

国土交通省関東地方整備局

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、千葉県政記者会、木更津記者クラブ、館山記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

担当：港湾計画課長 加賀谷 俊和 港湾計画課長補佐 中村 浩明

TEL：045-211-7415 URL：<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/index.html>

■各交付式についての問合せ先

○「みなとオアシス大洗」

担当：鹿島港湾・空港整備事務所 副所長 斗沢照夫 TEL0299-84-7711

○「みなとオアシス木更津」、「みなとオアシス・たてやま“渚の駅”」

担当：千葉港湾事務所 副所長 小山内英雄 TEL043-243-9172

「みなとオアシス大洗」(大洗港)

別紙1

「みなとオアシスのコンセプト」…ウォーターフロントの利用促進を図り、多くの人々に親しまれるみなとを目指し、誰もが憩える交流拠点としてのみなとまちづくりを進める

- 設置者:大洗町長
- 運営主体:大洗町
- 認定施設:大洗マリンタワー(情報発信、交流スペース)
- その他関連施設:大洗サンビーチ(交流スペース)、大洗海浜公園(交流スペース)、大洗マリーナ(情報発信、交流スペース)、フェリーターミナル(情報発信、交流スペース)、大洗わくわく科学館(情報発信)、町営駐車場、大洗リゾートアウトレット(情報発信、交流スペース)、第4ふ頭(交流スペース)
※各施設に、駐車場、トイレを設置(第4ふ頭以外)

《交通アクセス》 (電車)大洗鹿島線「大洗駅」よりバス海遊号(かいゆうごう)マリンタワー前下車すぐ
(車)北関東自動車道・東水戸道路「水戸大洗IC」より国道51号10分



「みなとオアシス木更津」(木更津港)

「みなとオアシスのコンセプト」・・・都市の新たな賑わいを創出する交流拠点づくり

- 設置者:木更津市長
- 運営主体:みなと木更津再生構想推進協議会
- 認定施設:きさらづ海の駅(情報発信、交流スペース)
- その他関連施設:鳥居崎海浜公園(駐車場、交流スペース)、中の島公園(交流スペース)、木更津港湾ターミナル(情報発信)、吾妻埋立緑地(交流スペース、駐車場)、木更津マリーナ(情報発信、交流スペース)
※各施設にトイレを設置

《交通アクセス》 (電車)JR「木更津駅」より車で5分
(車)館山自動車道「木更津南IC」から約10分



「みなとオアシス・たてやま“渚の駅”」 (館山港)

「みなとオアシスのコンセプト」…館山港を活用した、南房総地域の経済活性化の推進

- 設置者: 館山市長
- 運営主体: 館山市
- 認定施設: 館山駅西口観光プロモーション室(情報発信)
- その他関連施設: 千葉県立安房博物館(交流スペース、駐車場、トイレ、情報発信)、宮城地区耐震岸壁(交流スペース)、新井海岸(交流スペース)、北条海岸(交流スペース、駐車場、トイレ)

《交通アクセス》 (電車) JR「館山駅」西口より徒歩10分
(車) 館山自動車道「富浦IC」から国道127号線を経由して約10分



季節運航「超高速ジェット船」歓迎式典

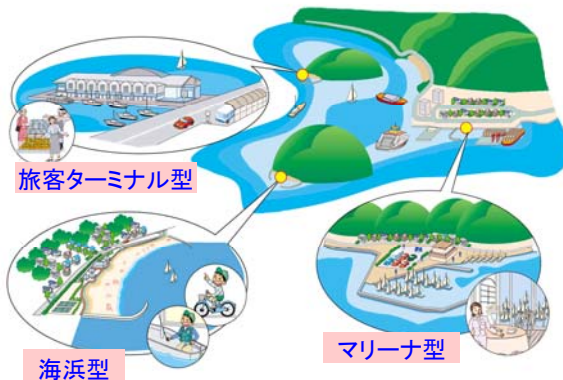


「みなとオアシス」の制度概要

別紙2

「みなとオアシス」とは

海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの施設やスペースを活用して、住民参加型の継続的な地域振興に係わる取り組みが行われる交流拠点



「みなとオアシス」のイメージ

「みなとオアシス」提供サービス

- 情報……地域情報、観光情報などの発信
- 交流スペース…広場、会議室などの提供
- 休憩……駐車場やトイレの提供
- 地域特性……特産物の販売や地域の祭・イベント開催

「みなとオアシス」になるには…

- 申請者
港湾所在市町村、港湾管理者、港湾所在市町村もしくは港湾管理者の推薦を受けた団体
 - 運営主体
港湾所在市町村、港湾管理者や市町村の推薦を受けたNPO等の団体等(地域住民の参加が必要条件)
 - 認定者
関東地方整備局長
 - 登録要件
以下の点を満たすことが必要
 - ①基本コンセプト
みなとを核とした地域の活性化に資する施設であること
 - ②基本サービスの提供
・地域情報・観光情報発信機能を有していること
・交流スペース(広場、会議室等)の提供があること
・休憩施設(駐車場、トイレ等)の提供があること
 - ③継続的な取り組み
地域住民参加の下、みなとの賑わいを創る活動が継続的にあること
- ※①を満足し、②③は概ね2～3年以内に実現が確実な場合は、仮登録とすることができる

主な支援内容

登録(仮登録)後、関東地方整備局として以下の支援を行う

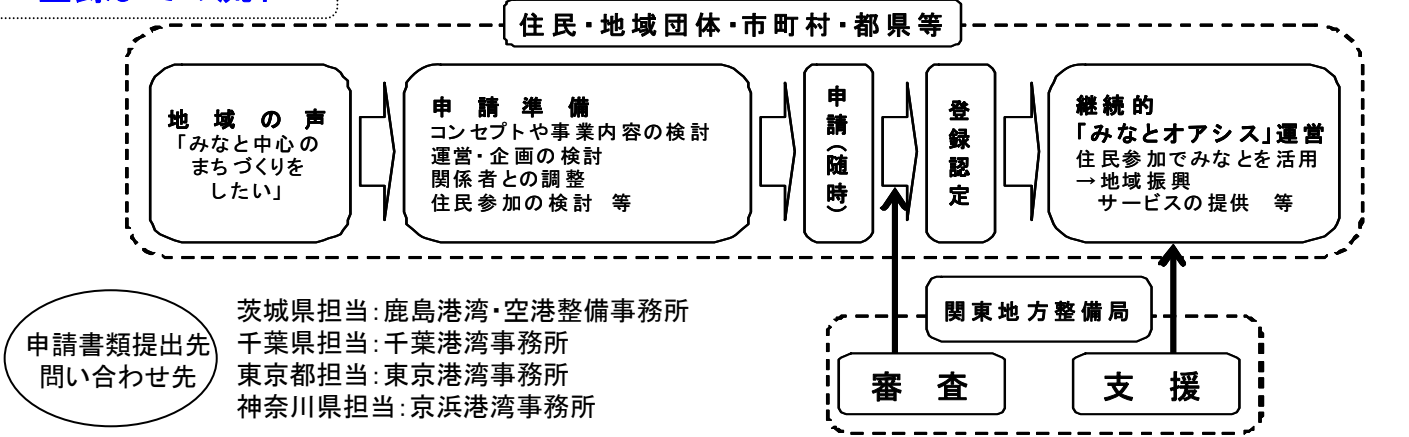
- ①広報支援
(HP等によるPR支援)
- ②みなとオアシス標章の無償使用
- ③運営に対する人材支援、情報提供等
- ④公的地図等への掲載支援等、関連事業での支援

※仮登録は、①のみ



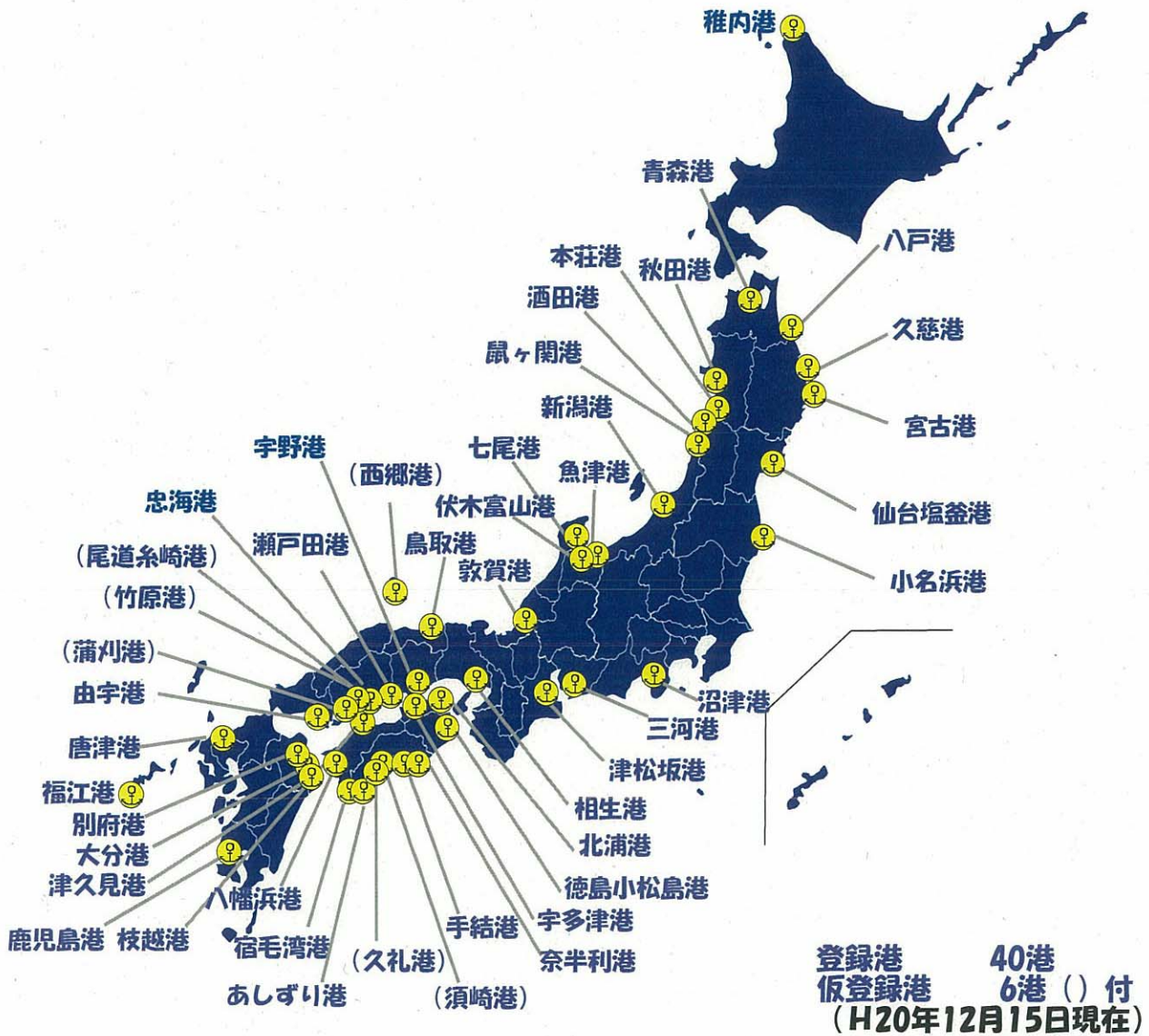
みなとオアシス標章

登録までの流れ



全国のみなとオアシス登録港（H20.12.15現在）

別紙3



* 認定者は各地方整備局長等になります。